

# 日本学術会議 パブリックヘルス科学分科会、子どもの健康分科会、日本学校保健学会 共催公開フォーラム

## 「社会格差の広がり子どもの健康への影響 ―今、学校保健に何が求められているか」

### 記

1. 主 催：日本学術会議基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会、  
同健康・生活科学委員会子どもの健康分科会、日本学校保健学会

2. 日 時：平成21年11月29日（日）9：45～12：00

3. 場 所：沖縄県県立看護大学  
〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

#### 4. 開催趣旨：

近年の日本社会における経済格差の拡大や、安全・安心を保障するセーフティネットの破綻、家族や地域社会の人々の結びつきの弱体化や崩壊などの社会現象が進行し、これらとともに人々の健康への影響が指摘されている。これらは主に大人の健康について明らかにされつつあるが、家族及び社会的擁護の中で健全に成長・発達すべき子どもの健康にも大きく影響すると思料される所であり、これらを明らかにし、子どもの健康を守り増進することは学校保健の新たな重要な課題である。

学校保健における健康格差の問題は、単に児童生徒の健康状態の差を問題とするのではなく、その格差が社会経済的要因・格差（教育もその一つである）と密接に関連していることを検証し、わが国の社会経済格差が児童生徒の健康にまで影響しているものなら、ただ単に健康状態への医療的アプローチ・臨床的アプローチだけでなく、その根源にある社会経済的要因への社会全体でのアプローチが必要なことを明らかにすることと、関係者と連携・協力しその問題解決を図ることにある。これらは、現在、子どもの健康分科会が提言を意図して作業中の「日本の子どものヘルスプロモーション」の重要な柱である「支援的社会環境の整備」、「ヘルスケアの方向性の転換」と密接な関係も有している。

これらのために、学校保健領域の研究者、実践家、政策関係者や一般参加者と情報交換や議論を行い、学校現場を始めとした関係者の取り組みや、健康政策、教育政策、社会政策について考えてい。

#### 5. プログラム：

##### 挨拶

實成文彦（日本学術会議連携会員、同健康・生活科学委員会子どもの健康分科会委員長、同基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会副委員長、山陽学園大学・山陽学園短期大学副学長）

##### 趣旨と進行の説明：

社会格差の広がり子どもの健康への影響 ―今、学校保健に何が求められているか

コーディネーター；朝倉隆司（東京学芸大学教育学部教授）

高橋浩之（千葉大学教育学部教授）

- (1) 子どもの健康と社会格差（社会的不平等）に関する研究の現状  
上地 勝（茨城大学教育学部准教授）
- (2) 養護教諭から見た子どもたちの健康と社会格差の現状 — 沖縄県の場合  
富永妙子（元沖縄県養護教諭）
- (3) 養護教諭から見た子どもたちの健康と社会格差の現状 — 千葉県市川市の場合  
井上智恵子（市川市立第七中学校養護教諭）
- (4) 子どもの教育と健康における格差  
高橋浩之（千葉大学教育学部教授）
- (5) ソーシャルキャピタルと子どもの健康の社会格差  
朝倉隆司（東京学芸大学教育学部教授）
- (6) 格差社会及び子どもの健康をめぐる日本学術会議の諸活動  
小林章雄（日本学術会議連携会員、同基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会幹事、同健康・生活科学委員会子どもの健康分科会幹事、愛知医科大学医学部教授）

#### 質疑と討論

#### 閉会の挨拶

宮下和久（日本学術会議連携会員、同健康・生活科学委員会子どもの健康分科会委員、和歌山県立医科大学医学部教授）

#### 【参加申込等】

参加費無料、事前のお申し込みは必要ありません。  
当日、会場へお越し下さい。どなたでもご参加いただけます。

#### 【問い合わせ先】

〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地  
琉球大学教育学部附属教育実践総合センター 小林研究室内  
第56回日本学校保健学会事務局  
E-mail : mkoba@edu.u-ryukyu.ac.jp TEL&FAX : 098-895-8449  
(事務員はおりませんので、お問い合わせはできるだけEメールでお願いします)